

ロシア・ウクライナ情勢によるSCM、物流への影響  
アンケート調査結果  
《速報版》

2022年3月30日（水）

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

## 目次

1.	アンケート調査結果の概要 .....	1
2.	速報版の公表にあたって .....	3
3.	アンケート調査結果：ロシア・ウクライナ情勢における「ロシア国内事業の影響と問題」 .....	4
4.	速報のまとめ .....	8
5.	今後について .....	8

## 1. アンケート調査結果の概要

### ■調査の目的と背景

一般のロシアのウクライナ侵攻による「ロシア・ウクライナ危機」が企業活動に大きな影響を及ぼしています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステムシステム（以下、JILS）では、一般の「ロシア・ウクライナ情勢」に起因する「ロシア国内事業の影響」および、「グローバルのS C M、物流への影響」をJILS会員および産業界の皆さまと広く共有し、今後の対応策を検討されるうえでの一助といたしたく存じます。

### ■調査項目

- (1) ロシア・ウクライナ情勢における「ロシア国内事業の影響」※本速報の内容
- (2) ロシア・ウクライナ情勢における「グローバルのS C M、物流への影響」

### ■調査方法

メール案内、WEB 回答方式

### ■調査期間

2022年3月18日（金）～2022年3月25日（金）

### ■調査対象・回答状況

調査対象：JILS 会員企業（製造業、流通業、物流業）：900社

回収状況：有効回答社数 105社（回答率 12%）

※有効回答の定義

本調査では、回答者情報：業種、会社名、所属・役職、氏名、メールアドレスのいずれかに記入のあった回答を有効回答とし集計対象とした。

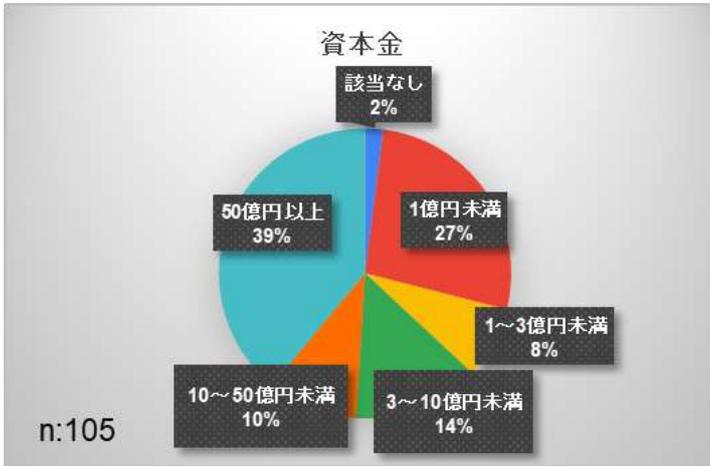
### ■回答者の属性

#### 【回答者所属企業の業種】

業種	有効回答	構成比
合計	105社	100%
1) 製造業	55社	52%
2) 流通業	11社	10%
3) 物流業	34社	33%
4) その他	5社	5%

【回答者所属企業の資本金・従業員数分布】

・資本金



・従業員数



## 2. 速報版の公表にあたって

速報性を重視し、ロシア・ウクライナ情勢における「ロシア国内事業の影響」について、まずは速報版としてご報告いたします。

ロシア・ウクライナ情勢における「グローバルのSCM、物流への影響」については、集計結果がまとまり次第、ご報告いたします。

### 《速報版》の報告内容

#### 1. ロシア・ウクライナ情勢における「ロシア国内事業の影響と問題」

Q1-1：経営（売上、利益等）における今般のロシア情勢の影響度は？

Q1-2：ロシアのSWIFT\*排除等による商取引の影響は？

Q1-3：Q1-2で「①影響大きい」に関する現時点の具体的な問題と対応。

Q1-4：ロシア現地事業の影響、対応について

Q1-5：影響を受けている自社の製品・商品（を取り扱う物流サービス）について

Q1-6：Q1-5で「その他」と回答された方へ。製品・商品（を取り扱う物流サービス）※回答なし

Q1-7：輸送途上のロシア向け貨物の荷降ろし（予定）について

Q1-8：輸送途上のロシア向け貨物の販売（予定）について

\*Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication（国際銀行間通信協会）

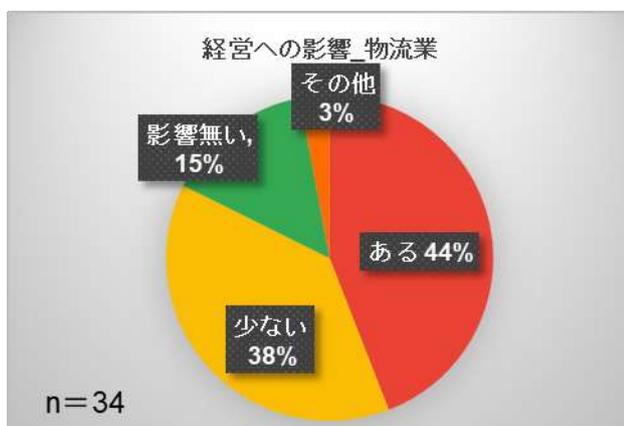
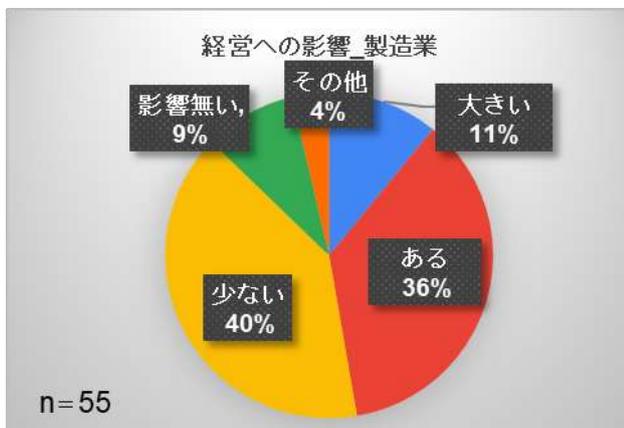
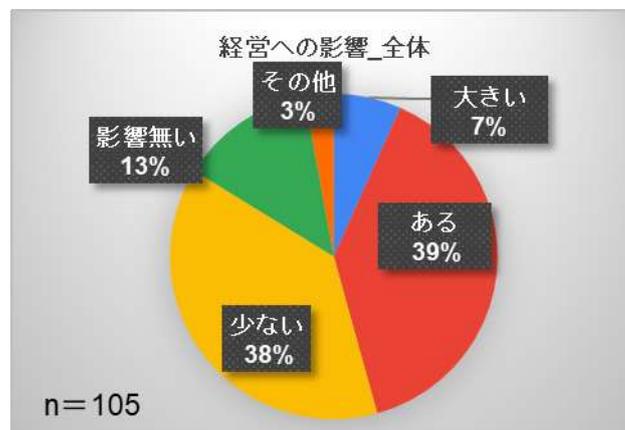
3. アンケート調査結果：ロシア・ウクライナ情勢における「ロシア国内事業の影響と問題」

Q1-1：経営（売上、利益等）における今般のロシア情勢の影響度は？

- ・経営への影響という観点からは、製造業、流通業、物流業にそれぞれにインパクトを与えていることが分かる。
- ・製造業では影響が「大きい」「ある」「少ない」を合算すると 87 ポイントとなり、何らかの影響を与えているという観点からは、製造業へのインパクトが最も大きい。

なお、以下のようなコメントも得られた。

- ・2021 年度の影響は現時点では算出が困難であり、状況を多角的に分析する（製造業/精密機械器具）
- ・現状で直接的な影響は見受けられないが、今後の見通しは不明（物流業/利用運送・物流管理）

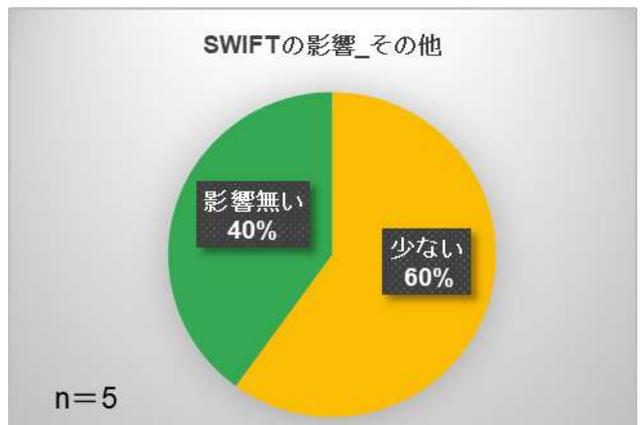
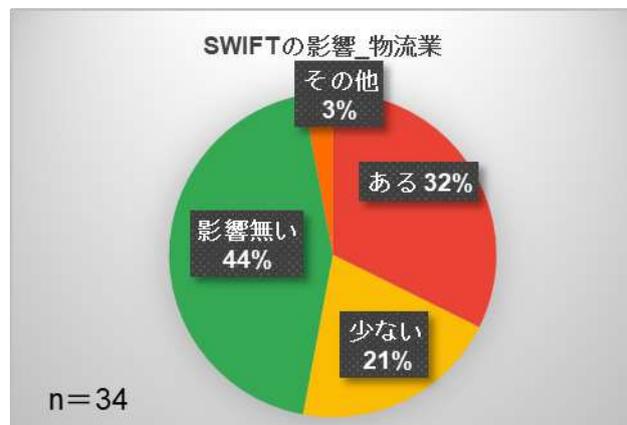
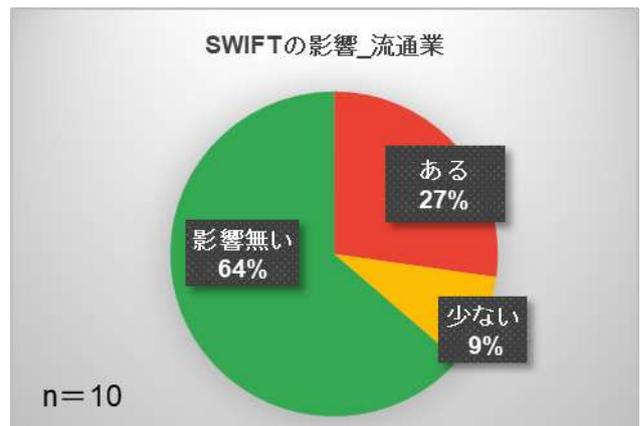
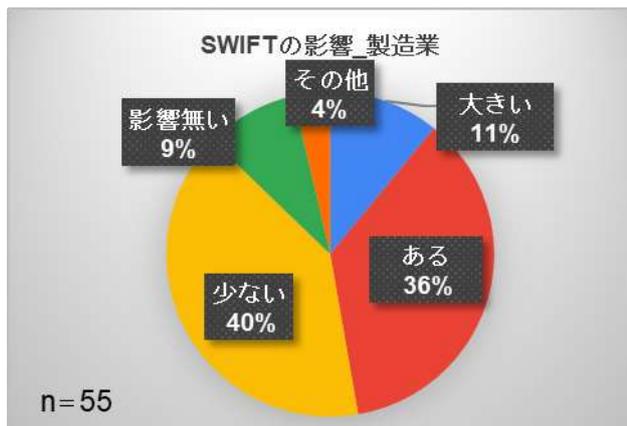
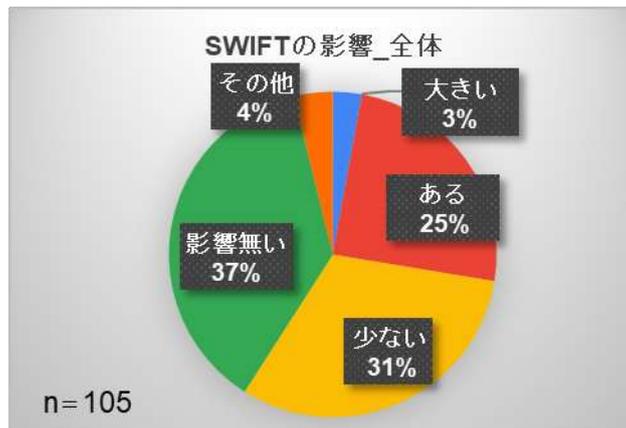


### Q1-2：ロシアの SWIFT 排除等による商取引の影響は？

・経営への影響を裏付ける結果であるが、製造業に大きなインパクトを与えていることが分かる。

なお、以下のようなコメントも得られた。

- ・現時点では大きな影響は無いが、輸出貿易管理令への抵触、当社サービスを利用したロシア輸送について注視している（物流業/利用運送・物流管理）
- ・2021 年度の影響は現時点では算出が困難であり、状況を多角的に分析する（製造業/精密機械器具）

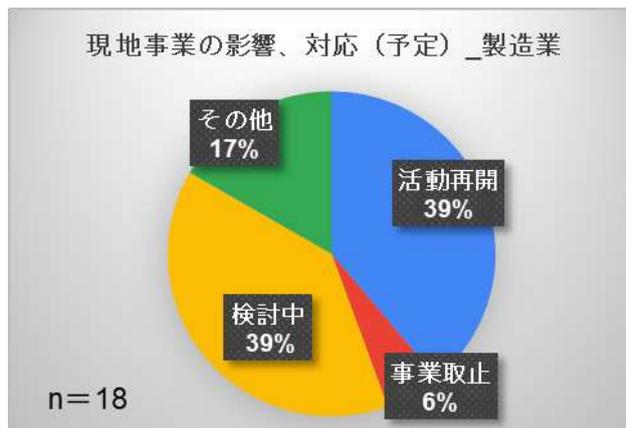


**Q1-3：Q1-2で「①影響大きい」に関する現時点の具体的な問題と対応。**

「影響が大きい」と回答した企業で発生した問題は以下の通り。なお、対応策がある場合は併せて回答を得た。

- ・ロシア客先向け製品の出荷停止と輸送途上品の返却（製造業/輸送用機械器具）
- ・ロシア取引の中断（製造業/機械器具）
- ・原材料の高騰（製造業/食品）
- ・主に原料、輸入諸費用（主に船便）、原油価格に大きな影響を及ぼす（製造業/食品）
- ・取引通貨ドルを先方が準備できるか、送金ルートを確認できるかが問題。  
入金してからの製品出荷を原則とする（製造業/精密機械器具）
- ・欧州からの輸入が多く、通常3-7日の航空便輸送リードタイムを8-10日掛かると社内に通知し、今後2週間ほどに伸びるとして生産、客先調整を社内に促した（製造業/輸送用機械器具）
- ・ロシア産水産品の輸入のストップ、代替国への切替え（その他/外食）

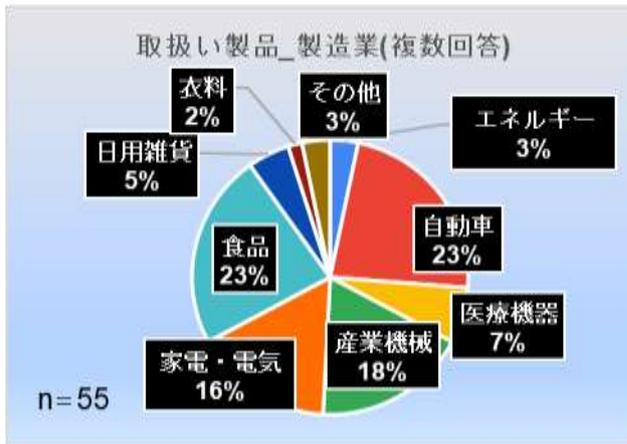
**Q1-4：ロシア現地事業の影響、対応について（有効回答数の事情により、製造業のみ掲載）**



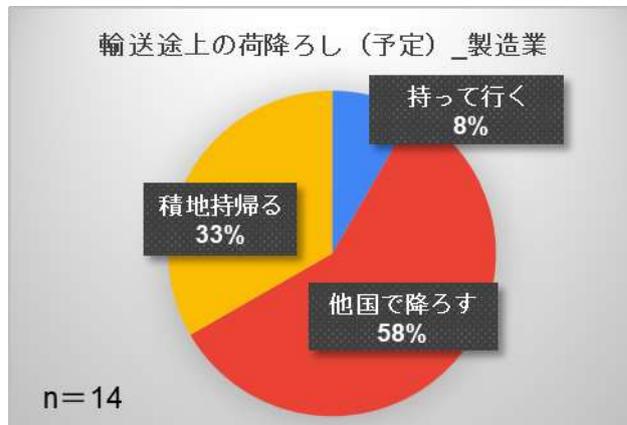
製造業の「その他」として、以下のコメントが得られた。

- ・情勢が刻々と変化するなか当社社員の安全確保を最優先に、ビジネス上の対応は政府等各関係機関と連携して必要な対応をとっていきたい（製造業/精密機械器具）
- ・ロシア政府との関係もあるため、回答を控えさせていただきます（製造業/食品）

Q1-5：影響を受けている自社の製品・商品について（複数回答/製造業のみ）



Q1-7：輸送途上のロシア向け貨物の荷降ろし（予定）について



- ・「他国で降ろす」が過半数を超え、次に「積地に持帰る」が多い回答結果となった。
- ・保険の適用が難しくなっている中、1社が「ロシアまで持って行く」と回答している。

Q1-8：輸送途上のロシア向け貨物の販売（予定）について ※（ ）内は回答数

- ・ a) コンサイニー（輸入者）をロシア以外に変更して荷揚げ地で販売（1）
- ・ b) ロシア以外で荷揚げし、陸路で持ち込み販売（1）
- ・ c) 製造拠点に戻して別仕向けに加工し直して販売（4）

なお、以下のようなコメントも得られた。

- ・ 欧州地域統括倉庫に保管し暫く様子見。その後、状況に応じてロシアへ転送（製造業/電気機械器具）
- ・ 卸に対応していただいている（製造業/食品）
- ・ 現在、日本の港で出荷止め（製造業/輸送用機械器具）

#### 4. 速報のまとめ

回答者の4割程度が、経営に対するインパクトがあるとしている。

当該地域におけるビジネス以外にも、欧州向けビジネスへの影響や原油価格の高騰等の影響が懸念されている。現時点では影響は無いと回答する企業でも、今後の情勢を注視するとのコメントも複数あったが、ロシア・ウクライナ情勢と共に、北米西岸ストライキ等の趨勢もウォッチしていく必要がある。

#### 5. 今後について

「グローバルのSCM、物流への影響」は、調査結果がまとまり次第、公表する予定です。

担当：(公社)日本ロジスティクスシステム協会

JILS 総合研究所 遠藤直也

お問い合わせは、以下のアドレスへお願いいたします。

[customer@logistics.or.jp](mailto:customer@logistics.or.jp)

ロシア・ウクライナ情勢による S C M、物流への影響アンケート調査結果

---

2022 年 3 月 30 日発行

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 編・発行

〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディウム 3 階

ホームページ <https://www1.logistics.or.jp/>

---

禁無断転載